

Medical Group AISEIKAI

名古屋市北区東部地域包括支援センター

名古屋市北区東部地域包括支援センター

センター長 水谷 正

1. 名古屋市北区東部地域包括支援センターの概要

65歳以上の高齢者の総合相談窓口として、受託4年目を迎える。保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員、事務職員総勢15名が、医療・福祉の連携をモットーに、住み慣れた町で元気に自分の力で安心して過ごす頂くために、名古屋市北区内の9小学校区（宮前、飯田、名北、六郷、六郷北、辻、杉村、城北、東志賀）を担当している。保健師、看護師等が介護予防を、社会福祉士が、虐待、消費者被害などの権利擁護を、主任介護支援専門員は、地域のつながりを広めると共に、地域の介護支援専門員やサービス事業者の支援を行っている。更に、介護予防事業所として、要支援者のケアマネジメントを行い、また認知症家族を支援する事業も3年目を迎えた。

従来、医療福祉の窓口といえば、北区役所、北保健所、北区社会福祉協議会等であったが、もう1か所窓口が創設されたとして、区民の皆様には、更に浸透されつつある。

2. 2009年活動実績

北区医師会、北保健所、上飯田福社会館、各小学校区で開催される独居世帯向け給食会などの協力などを頂き、特定高齢者の掘り起こしを行い、685名（11月末現在）の特定高齢者に対して、電話や訪問などを通して運動器や口腔などの機能向上事業につながるなど介護予防活動を行う。そして一般高齢者にも対象を広げた自治会主催の運動教室の支援や当センター主催の体操サロンを開催した。また北区内の各病院を回り、引き続き医療機関との連携強化を図った。次に経済的搾取や介護放棄などの虐待や悪質商法による消費者被害の増加に伴い、北区役所や虐待相談センター等の協力を頂き、実際に発生した虐待の解決などに対応すると共に安全な街作りとして消費生活センターの協力を得ながら消費者被害防止に向けた出前講座と認知症サポーター養成講座を開催した。また地域包括支援センター便りの発行や情報配信を行ったり、困難事例に対して同行訪問するなど居宅介護支援事業所等の介護支援専門員の後方支援を行った。

そして525名（11月末現在）の要支援者のケアマネジメントを行う共に、介護保険サービス事業者の正しいサービス提供の在り方についても支援をした。一方で認知症の方を介護する家族向けの家族教室、家族サロン、物忘れ相談を毎月開催した。

最後に名古屋市からの受託事業として、行政と民間事業者との中間に位置し、直接支援する機関等へのつなぎ役や情報発信基地として一役を担った1年であるといえる。

3. 学術発表等

名古屋市高齢者虐待事例集作成検討委員会（名古屋市健康福祉局高齢福祉課発行予定）作成検討委員として参加。更に、北区地域包括ケア推進会議 委員。北区認知症専門部会委員。小規模多機能型施設「かくれんぼ」、「ニチイのやわらぎ大曾根北」、グループホーム「あさひ名北」の運営協議会委員、上飯田福社会館 サポート会議委員を担当、その他。また、認知症サポーター養成講座などの講師などで、219名（11月末現在）の認知症サポーター養成を行う。